

寒さ厳しい折 皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルスに翻弄された一年でしたが、今年は穏やかに過ごせる年になりますようお祈り致します。

さて、令和3年より認知症に関する地域だより『オレンジだより』を発行することになりました。地域の皆様に役立つ情報をお届けできるよう努めて参ります。

認知症施策担当 古里・久保園・東迫



今月の特集：たより「オレンジ」の由来



なんで
オレンジなの？

認知症のテーマカラー . . .

柿の色「オレンジ」



江戸時代に作られた有田焼の赤絵磁器は、柿の色を表現しており、海外に輸出されて高い評価を受けました。このように、認知症支援・啓発が、日本から世界へ広く知れ渡ることを願い認知症のテーマカラーとなりました。

下記のようにあらゆる所でオレンジ色が使用されています。

認知症サポーターキャラバン
マスコット



世界アルツハイマー月間
オレンジガーデニング



オレンジカフェ
のぼり旗



認知症相談窓口



認知症サポーターの証
オレンジリング



鹿屋市地域包括支援センター認知症施策担当理事



長生きすれば、誰もが多かれ少なかれもの忘れをしたり、見るもの聞くものが歪んだり霞んだりする認知障害が出て来ます。その障害の進行を早めてしまうのがアルツハイマー病を始めとした認知症という病です。予防をし、早期から養生の手立てをすれば、長く穏やかな生活が送れる期待が高まります。

コロナの時代でも、極端に家に閉じこもらないで下さい。足の衰えや舌の衰えが認知症に直結します。歩け歩けです。思うように動けない方もマスクをして友人知人と大いに語りましょう。舌を動かして声を出すことで脳がとても活性化します。

そして皆様が安全に活動できる場を提案、提供しようと日々活動しているのが鹿屋市地域包括支援センターです。また、悩ましいことがありましたら、我らオレンジ、もとい！オレ爺(侍医)も控えておりますので、どうぞ安心してご相談下さい。



桜ヶ丘病院院長 楢林義寛 医師



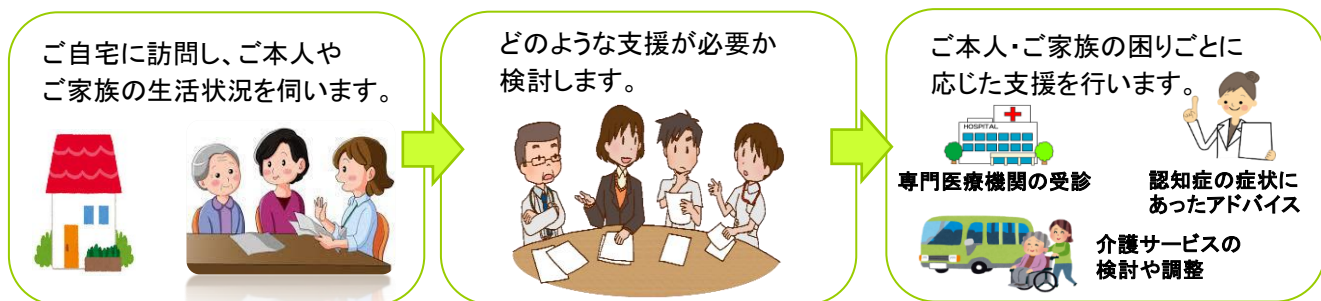
私たちの活動を紹介します



認知症初期集中支援チーム

医療や介護につながっていない認知症の方や認知症が疑われる方に対して、医師をはじめとする専門職が集まり、在宅での生活を支えます。

～具体的な支援の流れ～



認知症地域支援推進員



鹿屋市の認知症施策を推進する役割を担います。ほっと会や認知症カフェ(オレンジカフェ)、アルツハイマー月間イベント、地域で認知症に関する講演会等を企画しています。



オレンジカフェ

認知症の方やその家族などが、安心して過ごせる場所、地域と繋がり、地域の方が認知症について学び、認知症になっても安心して暮らせる地域作りとなる場です。



ほっと会

同じ悩みを持つ人たちと集まり、お互いに話をしたり聞いたりして、ほっと一息ついてほしい……。そんな願いを込めた『介護者交流会』です。



読む 知る 認知症



～認知症を正しく理解しよう～

鹿屋市地域包括支援センター内には、認知症に関する書籍を多数揃えています。オレンジカフェやほっと会では、貸出しを実施しています。

認知症クイズに挑戦！

世界で何秒に1人が認知症を発症しているのでしょうか？

- ① 3秒に1人
- ② 15秒に1人



認知症って、誰もがなり得る可能性のある、とても身近な症状(状態)なんですね

(答) 1

